

南部町 定数14で3人全員当選

23日投票へ 光市、周防大島町、世羅町で大平議員が熱く訴え



10月16日投票の鳥取県南部町議選挙において、日本共産党は現有3議席(現職2人、新人1人)の全員当選を勝ち取りました。

定数14での3議席確保は、全国的にも高い議席占有率となります。(写真)

中国ブロックでは参院選後の地方選挙では全員当選で2議席増となっています。

引き続き、この23日投票で山口県光市、周防大島町、広島県世羅町で選挙がたたかわれます。

大平喜信衆議院議員は、各自治体での演説会や

出発式に参加し、「日本共産党の勝利で安倍内閣の暴走ストップを」「いま全国で光る日本共産党の地方議員の役割に確信を持ち、必ず勝利を」と訴えています。

共産党と市民の共同で県政の転換を・岡山県知事選挙

23日投票で行われる岡山県知事選挙では、日本共産党と労働組合・民主団体で結成している「民主県政をつくるみんなの会」から立候補している植本かんじ候補が、支持の輪を勢いよく広げています。

岡山県では、新潟県知事選挙のような政党間の「野党共闘」は実現をしていませんが、「安倍暴走政治ストップ」「県政の転換を」と訴える植本候補に、党派を超えた支持が広がっています。

(写真は、岡山市表町商店街で訴える植本候補ら)



「大運動」成功へ・各地で若い人が入党を決意

中国ブロック各地で、「大運動」成功めざす取り組みが進んでおり、各県・地区委員会が発行しているニュースでは、青年の入党が紹介されています。

岡山県の推進ニュースによれば「岡山市内で同世代の党員がはたらきかけ青年労働者が入党」しています。

さらに島根県党ニュースでは「奥出雲町で23歳の男性が入党を決意」したことが紹介されています。来年4月に選挙をたたかう川西町議が、数年間生活相談に乗ってきたA青年に「人を支える生き方をしたい」という若者の思いに沿って入党を訴えると、A青年は二つ返事で入党を決意してくれました。